

「第3次宇都宮市食育推進計画」(素案)について

◎ 趣旨

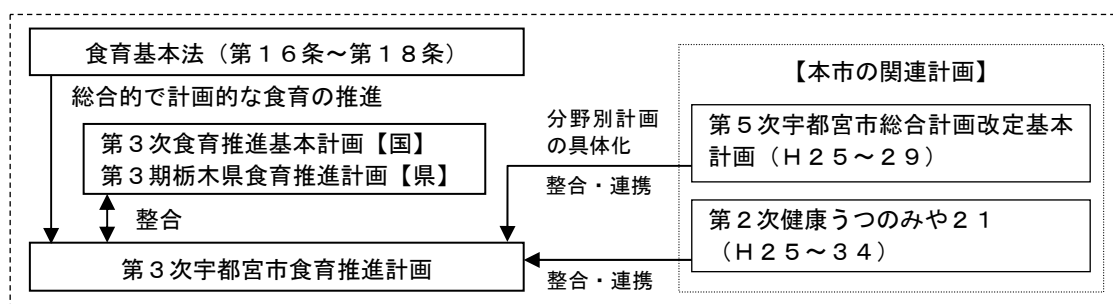
「第3次宇都宮市食育推進計画」(素案)について、その内容を協議するもの

1 策定の目的

- 本市においては、平成24年3月に「第2次宇都宮市食育推進計画」を策定し、「食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育み、人間力の向上を図る」という基本理念のもと、家庭、学校、地域、企業、行政などがそれぞれの役割に応じて、連携・協力しながら食育を総合的かつ計画的に推進してきたところである。
- このような取組のもと、「食育」が広く認知されてきたところであるが、依然として肥満の割合が高いことや、特に若い世代では朝食の欠食など様々な課題がみられ、これらの解決に向けてより一層食育を推進する必要があることから、平成28年度で計画期間が終了する現行計画を改定し、「第3次宇都宮市食育推進計画」を策定する。

2 計画の位置づけ

- 「食育基本法」第18条に基づき、食育を総合的かつ計画的に推進するため、国及び県の計画と整合を図りながら策定する計画
- 「第5次宇都宮市総合計画改定基本計画」に基づくとともに、現在策定中の「第6次宇都宮市総合計画」を見据え、食育の推進に関する施策の実施を推進するための計画



3 計画の期間

平成29年度から平成33年度までの5年間

4 策定経過

平成28年 2月～ 宇都宮市食育推進検討委員会 (計3回)
宇都宮市食育推進会議 (計3回)

平成28年 6月～ 食育に関する市民意識調査の実施

5 計画の特徴・内容

(1) 特徴

- ① 食育の実践を着実に進めるため、5年間における取組の視点として、食生活の状況や健康課題を踏まえ、特に世代ごとの課題に対する食育を推進するとともに、社会環境の変化を踏まえ、地域社会全体で食育を推進していくことを計画に盛り込んだ。

ア 世代ごとの課題に対する食育の推進

・ 若い世代の食育の実践

親となり次世代を育成する若い世代の食育をより一層推進するため、高校・大学と連携した事業を重点事業に位置付けるなど、若い世代の食育の実践に重点的に取り組む。

・ 働き盛り世代の食育の実践

生活習慣病が本市の死因の約6割を占め、全国平均に比較しても高い状況にあることから、健康寿命の延伸に向け、働き盛り世代の生活習慣病の予防・改善に向けた食育の推進に重点的に取り組む。

イ 地域社会全体で食育を推進

単身世帯や共働き世帯の増加など、世帯構造やライフスタイルが多様化する中、家庭のみならず、地域や職場における食育の取組を推進し、地域社会全体で市民の健全な食生活の実践に取り組む。

- ② 家庭、学校、地域、企業、行政など、関係者がより一層の連携・協力のもと、食育を推進するため、地域団体など民間の取組（14事業）を位置付けた。

(2) 内容

- ・ 「第3次宇都宮市食育推進計画」(素案)概要版 別紙1
- ・ 「第3次宇都宮市食育推進計画」(素案) 別紙2

6 今後のスケジュール

平成29年1月	パブリックコメントの実施
平成29年2月	第3回食育推進検討委員会（「第3次宇都宮市食育推進計画」案） 第3回食育推進会議（「第3次宇都宮市食育推進計画」案）
平成29年3月	計画書の市長への手交式